

光市健康づくり推進計画 中間評価に係る「光市の現状」

指標の現状値と市民アンケート調査実施結果（速報値）について

参考：計画書 第3章「第3 健康指標」、第5章 施策の展開「個別指標」

（25、37～64ページ）

◆指標の評価方法（案）

指標ごとの評価…計画策定時の「近況値」を「基準値」とし、現状値（把握可能な直近値）を比較し、以下のとおり a・b・c・d・e の5段階で評価しました。

- a 改善している：改善しており、中間目標に到達している
- b 改善傾向：改善傾向であるが、中間目標に到達していない
- c 変わらない：計画策定時の近況値（基準値）とほぼ変わらない（±0.1%）
- d 悪化傾向：計画策定時の近況値（基準値）に比べ悪化傾向である
- e 評価困難：設定した指標又は把握方法が策定時と異なるため評価困難

1 健康指標

健康指標	近況値⇒基準値		現状値 or 直近値		評価 (案)	参考値 (令和7年)	基準値 現状値 出典
	基準値 (平成26年)	中間目標 (令和2年)	直近値 (令和2年)				
① 健康寿命 男性 女性	(H22年) 78.13年 83.13年	増加 (※)	(H27年) 79.36年 84.39年		a	増加 (※)	㉞
② 「健康寿命」の周知度 （「健康寿命」という言葉も内容も知っている人）	48.0%	60.0%	65.0%		a	75.0%	㉟
③ 普段から健康に心がけている人の割合	84.8%	95.0%	84.7%		c	95.0%	㊱

（※）平均寿命の増加分を上回る健康寿命の延伸

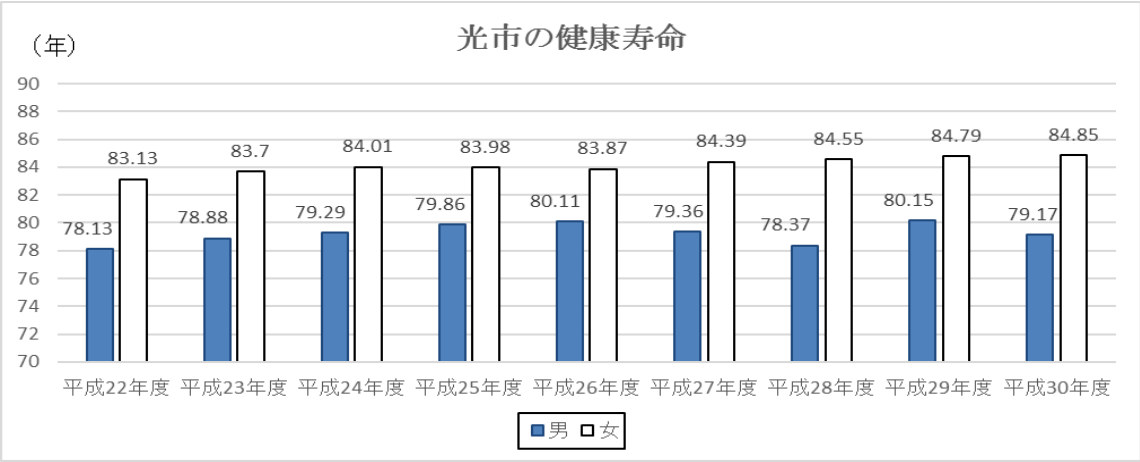
㉞山口県「やまぐち健康マップ」「健康づくりに関する県民意識調査」（平成26年10月）

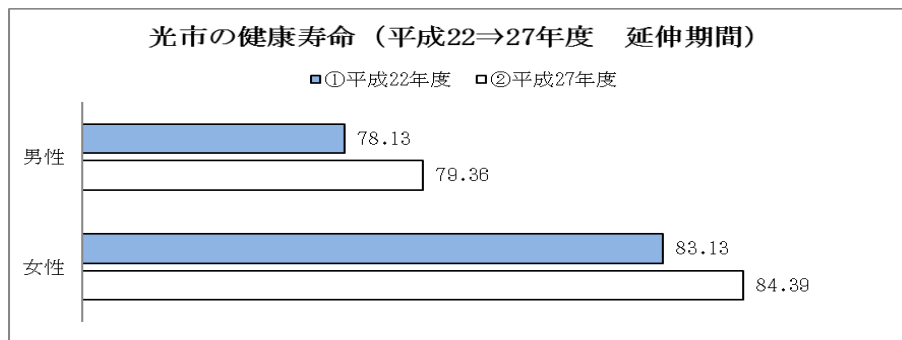
山口県健康福祉部健康増進課（令和2年7月）※現状値は5年に1回の国勢調査年

㉟光市「健康・食育に関するアンケート調査」（平成26年度、令和2年度）

㊱光市「まちづくり市民アンケート調査」（平成26年度、令和元年度）

① 健康寿命





出典：山口県健康福祉部健康増進課

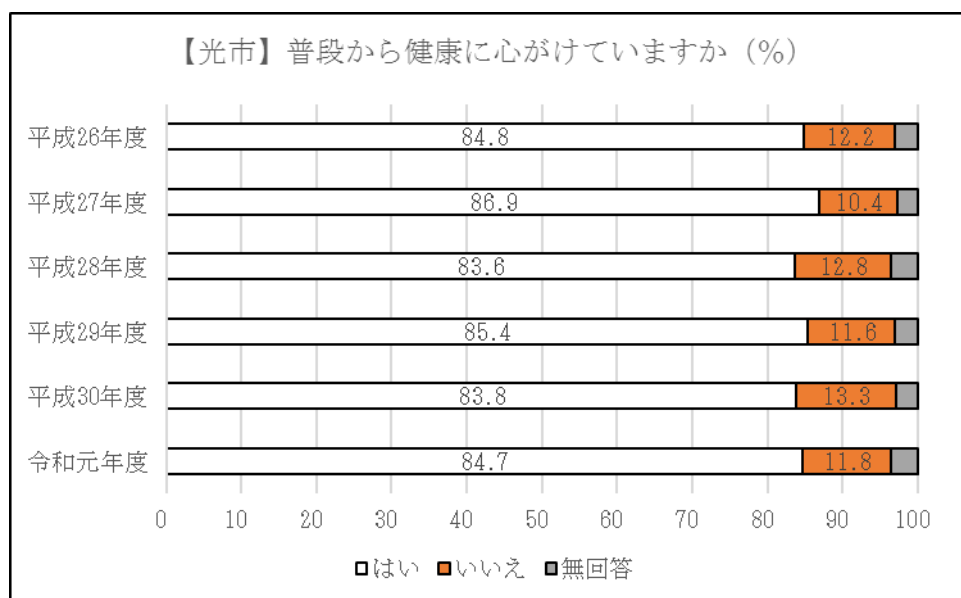
光市の健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）は近年延伸傾向にあり、平成22年度から平成27年度の5年間で、男性1.23年、女性1.26年延伸しています。

※平成30年度、本市の健康寿命は男性79.17年、女性84.85年です。現状値及び指標評価の基準値から現状値の延伸期間算出は、5年に1回の国勢調査年（国勢調査を反映した生命表を使用し、より精度が高い）としています。

② 「健康寿命」の周知度

光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、「健康寿命」という言葉も内容も知っている市民（20歳以上）の割合は、平成26年度48.0%から、令和2年度65.0%と増加している状況です。

③ 普段から健康に心がけている人



光市「まちづくり市民アンケート調査」の結果、普段から健康に心がけている市民（18歳以上）の割合は、平成26年度（84.8%）から令和元年度（84.7%）まで、大きな変化はみられない状況です。

2 個別指標

I ライフステージに応じた健康づくりの推進

1 次世代の健康づくりの推進

個別指標	基準値 (平成 26 年)	中間目標 (令和 2 年)	直近値 (令和 2 年)	評価 (案)	参考値 (令和 7 年)	基準値 現状値 出典
① 全出生児数中の低体重児 (2,500 g 未満) の割合	9.0%	減少	(R1 年) 9.0%	c	減少	㊦
② 妊婦の喫煙者の割合	4.5%	減少	(R1 年) 1.2%	a	0%	㊦
③ 喫煙に興味(関心)がある生徒の割合 (中学生・高校生)	4.1%	減少	3.7%	a	減少	①
④ 「自分は健康(元気)だ」 と思う児童生徒の割合 (小学生) (中学生) (高校生)	79.6% 76.6% 75.6%	85.0%	81.5% 86.5% 79.5%	b a b	増加	①
⑤ 朝食を毎日とっている児童生徒の割合 (小学生) (中学生) (高校生)	84.7% 85.2% 70.9%	増加	79.5% 80.5% 71.8%	d d a	100%に 近づける	①
⑥ 運動を習慣的にしている 子どもの割合(学校の体育の授業以外に、ほとんど毎日(週に3日以上)運動・スポーツをしている児童の割合) (H25) (小学5年生男子) (小学5年生女子)	60.0% 34.7%	増加	—	e ※	増加	㊦
⑦ 睡眠で休養が十分にとれていると思う生徒の割合 (中学生・高校生)	51.4%	55.0%	61.7%	a	60.0%	①

①光市「健康・食育に関するアンケート調査」(平成 26 年度、令和 2 年度)

㊦光市健康増進課

㊦文部科学省「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」(平成 25 年度)

※スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では近年(平成 29・30・令和元年度)同設問の実施がない状況

① 低出生体重児

平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
9.0%	11.1%	8.7%	6.1%	10.4%	9.0%

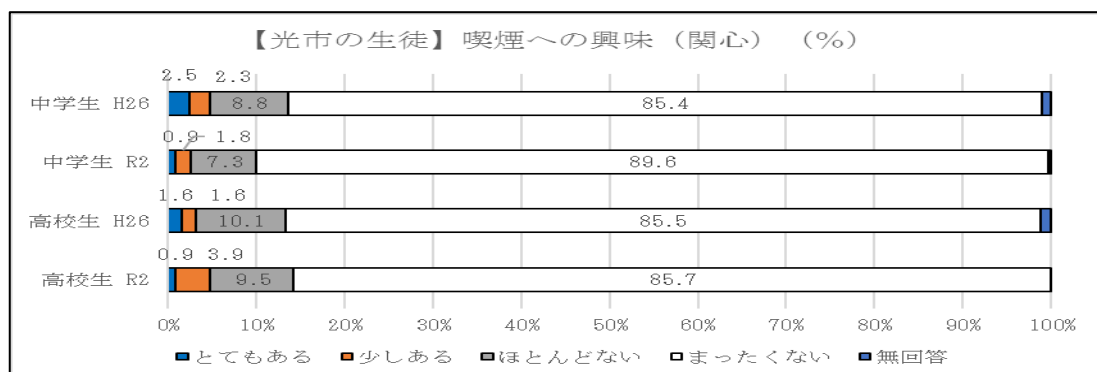
光市の全出生児数中の低体重児(2,500 g 未満)の割合は、近年増減はあるものの平成 26 年度と令和元年度は同じ状況です。

② 妊婦の喫煙者

平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
4.5%	2.6%	2.7%	5.3%	1.6%	1.2%

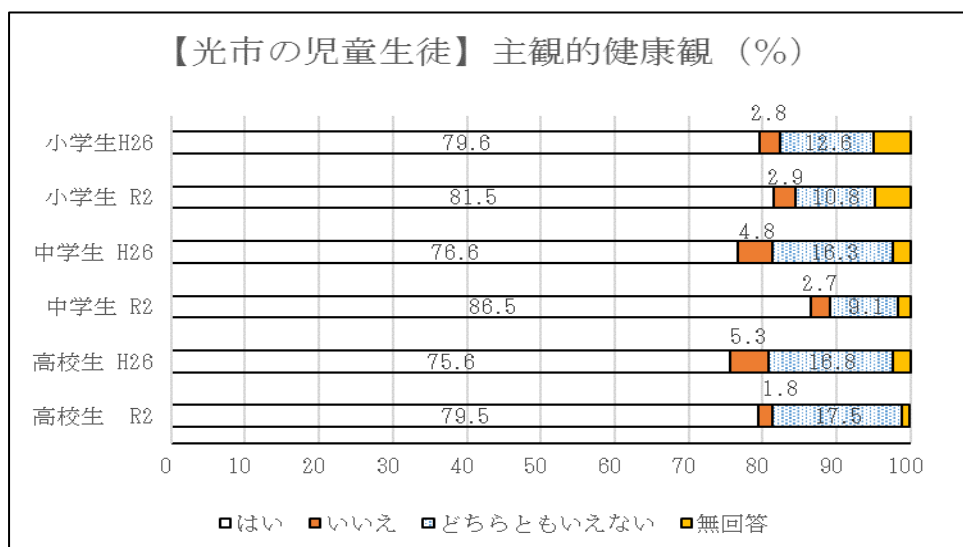
光市の妊婦（妊娠届出者数）中の喫煙者の割合は、平成 29 年度が多かったものの平成 26 年度以降、減少傾向の状況です。

③ 喫煙への興味・関心度（生徒）



光市「健康・食育に関するアンケート調査（児童生徒）」の結果、たばこを吸うことに興味（関心）がある（とてもある・少しある）生徒（中高生）の割合は、平成 26 年度 4.1%（中学生 4.8%、高校生 3.2%）から、令和 2 年度 3.7%（中学生 2.7%、高校生 4.8%）と減少している状況です。

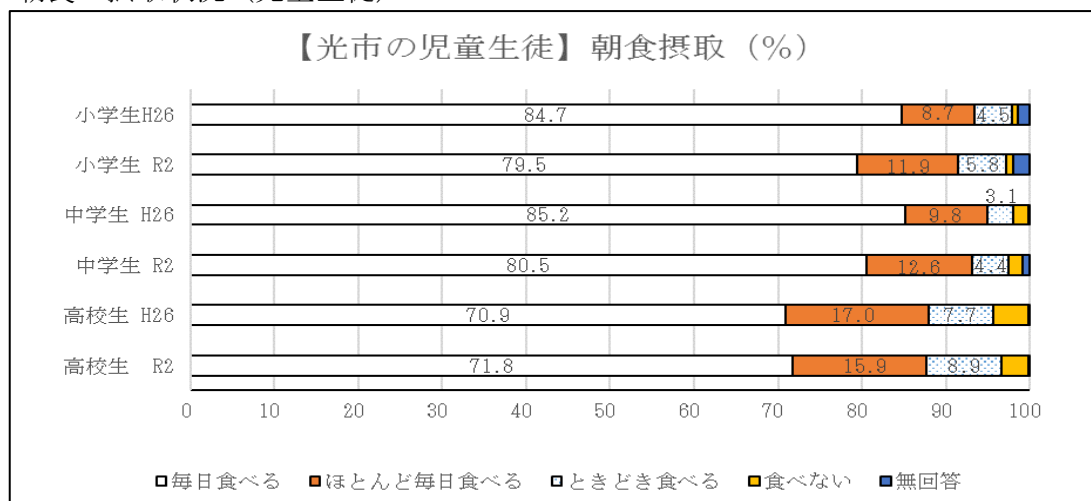
④ 主観的健康観（児童生徒）



光市「健康・食育に関するアンケート調査（児童生徒）」の結果、「自分は健康（元気）だと思いますか」という設問に「はい」と回答の児童生徒の割合は、小学生・中学生・高校生ともに平成 26 年度（小学生 79.6%、中学生 76.6%、高校生 75.6%）から、令和 2 年度（小学生 81.5%、中学生 86.5%、高校生 79.5%）と増加しています。

しかし、自分は健康（元気）だと思っていない児童生徒も数パーセントいる状況です。

⑤ 朝食の摂取状況（児童生徒）

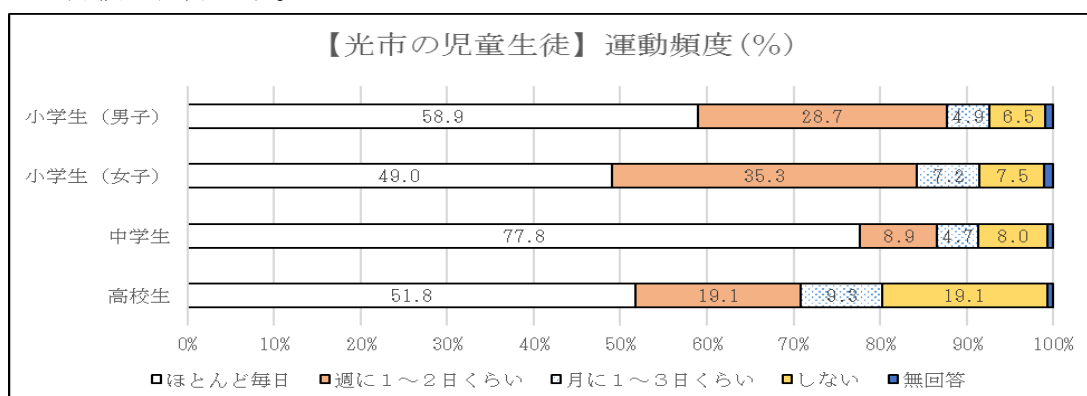


光市「健康・食育に関するアンケート調査（児童生徒）」の結果、「朝食（朝ごはん）は、毎日、食べますか」という設問に「毎日食べる」と回答の児童生徒の割合は、小学生・中学生はともに平成 26 年度（小学生 84.7%、中学生 85.2%）から、令和 2 年度（小学生 79.5%、中学生 80.5%）と減少しており、高校生は平成 26 年度（70.9%）から、令和 2 年度（71.8%）と微増しているものの、朝食の欠食がある児童生徒が約 2～3 割いる状況です。

【参考】朝食（朝ごはん）を食べないことがあると回答の児童生徒の「朝食を食べない理由」として、多い順に、「おなかがすかない・食欲がないから」「食べる時間がないから」「いつも食べないから（食べる習慣がないから）」という状況です。

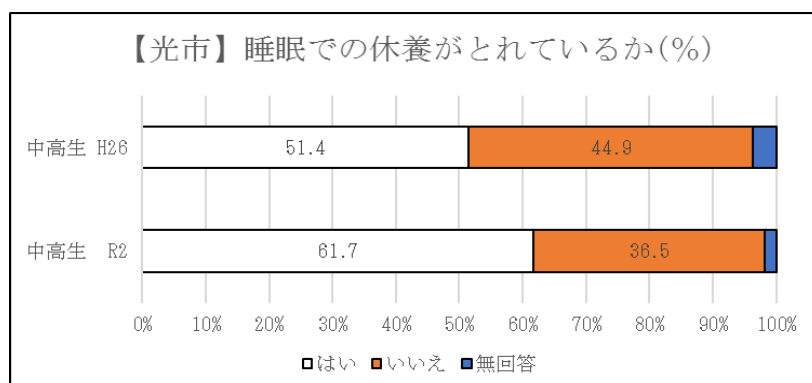
⑥ 運動習慣（児童生徒）

スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では近年（平成 29・30・令和元年度）、平成 25 年度の同調査において、同じ設問の実施がない状況のため、比較しての評価は困難です。



参考として、令和 2 年度光市「健康・食育に関するアンケート調査（児童生徒）」の結果では、「運動やスポーツをどのくらいしていますか（学校の体育の授業をのぞきます）」という設問に「ほとんど毎日（週に 3 日以上）」と回答の児童の割合は、小学生男子 58.9%、小学生女子 49.0%という状況です。また、学年別では、小学 3 年生 49.6%、小学 6 年生 57.3%、中学生 77.8%、高校生 51.8%という状況です。

⑦ 睡眠での休養（生徒）



光市「健康・食育に関するアンケート調査（児童生徒）」の結果、最近、睡眠で休養が十分とれている生徒（中高生）の割合は、平成 26 年度 51.4%（中学生 52.2%、高校生 50.7%）から、令和 2 年度 61.7%（中学生 61.6%、高校生 61.8%）と増加している状況です。

2 働く世代の健康づくりの推進

個別指標	基準値 (平成 26 年)	中間目標 (令和 2 年)	直近値 (令和 2 年)	評価 (案)	参考値 (令和 7 年)	基準値 現状値 出典
① がん検診受診率 ・ 胃がん検診	7.8%	増加	(H29) 6.9%	d	40%	㊦
・ 肺がん検診	19.0%		(H29) 17.8%	d		
・ 大腸がん検診	16.6%		(H29) 17.0%	a		
・ 子宮がん検診	23.1%		(H29) 23.0%	c	50%	
・ 乳がん検診	18.9%		(H29) 18.4%	d		
② 「自分は健康だ（非常に健康だ・健康な方だ）」と思う人の割合	69.3%	75.0%	68.9%	d	増加	
③ 脳血管疾患の年齢調整死亡率（人口 10 万対）	(H24) 男 38.0 女 29.0	減少	(H29) 男 35.2 女 21.5	a a	男 32.0 女 26.6	㊪
④ 虚血性心疾患の年齢調整死亡率（人口 10 万対）	(H24) 男 18.5 女 8.2	減少	(H29) 男 19.4 女 8.5	d d	男 16.0 女 7.3	㊪

㊦山口県「やまぐち健康マップ」「健康づくりに関する県民意識調査」（平成 26 年 10 月）

山口県「やまぐち健康マップ」（令和 2 年 3 月）

㊧光市「健康・食育に関するアンケート調査」（平成 26 年度、令和 2 年度）

㊨光市健康増進課

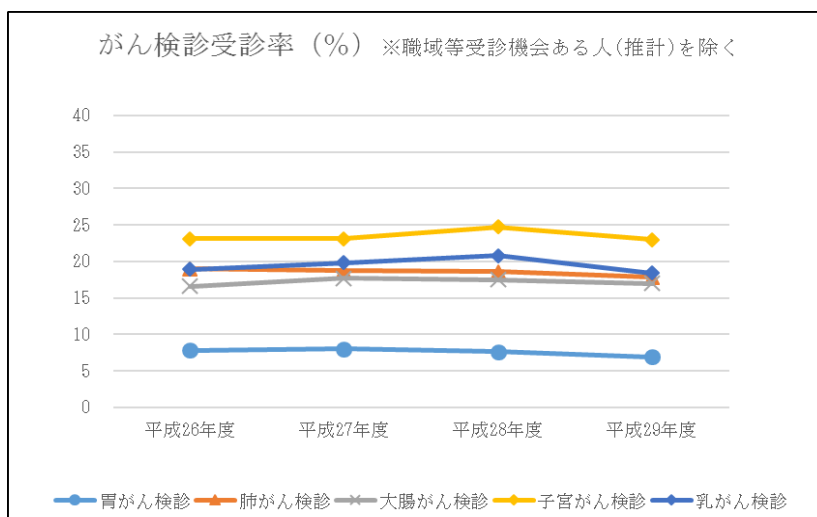
※計画策定時の基準値（平成 26 年度）は、職域等で受診機会がある人を推計し、全住民より引いた数を対象者としている。平成 28 年度より国報告において全住民を対象として受診率を算出することとなり、平成 29 年度までは比較するため同様の算出方法での受診率も公表しているため、直近値は平成 29 年度としている。

① がん検診受診状況

(%)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
胃がん検診	7.8	8.0	7.6	6.9
肺がん検診	19.0	18.7	18.6	17.8
大腸がん検診	16.6	17.7	17.5	17.0
子宮がん検診	23.1	23.1	24.7	23.0
乳がん検診	18.9	19.8	20.8	18.4

(対象者数：職域等で受診機会がある人を推計し、全住民より引いた数)



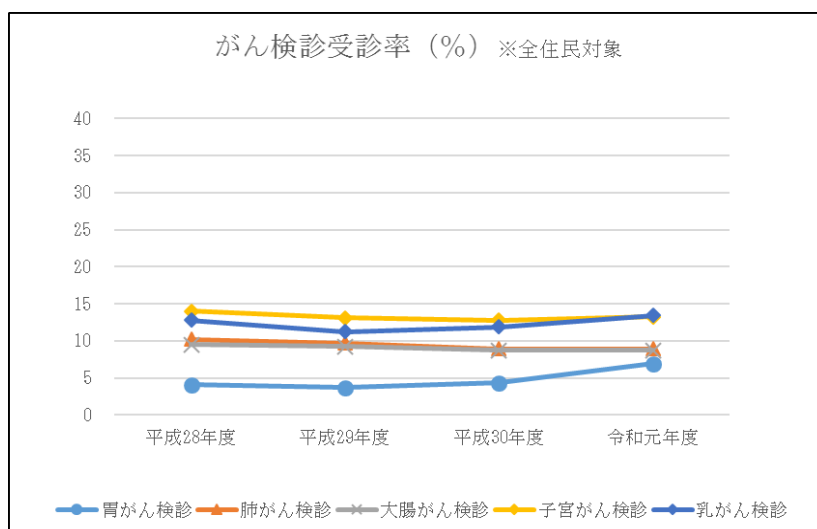
本市の平成 26 年度から平成 29 年度のがん検診受診率は、大腸がん検診はやや増加傾向ですが、胃がん検診・肺がん検診・大腸がん検診・乳がん検診は減少傾向です。

いずれも、受診率は低い状況です。

(%)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
胃がん検診	4.1	3.7	4.3	6.9
肺がん検診	10.2	9.7	8.9	8.9
大腸がん検診	9.5	9.2	8.7	8.7
子宮がん検診	14.0	13.1	12.8	13.2
乳がん検診	12.8	11.2	11.9	13.4

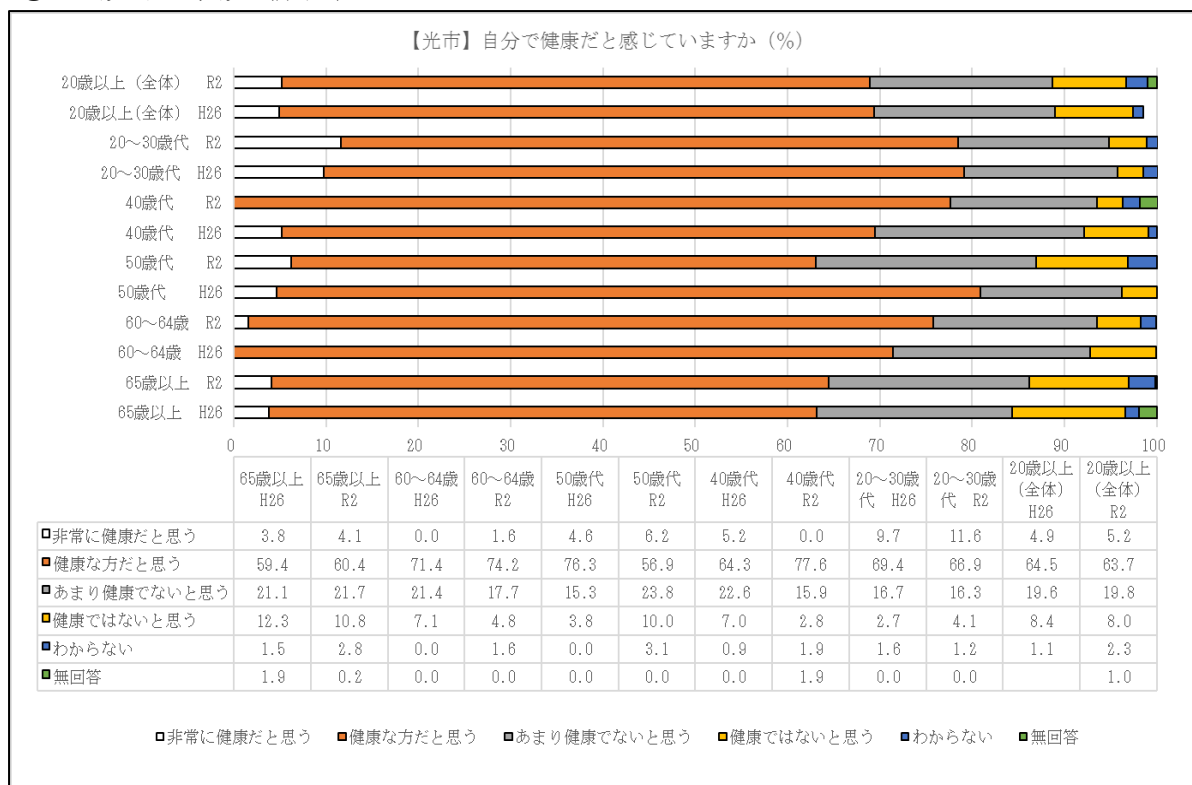
(対象者数：全住民)



参考として、平成 28 年度より国報告において全住民を対象として受診率を算出することとなり、平成 28 年度から令和元年度のがん検診受診率では、胃がん検診及び乳がん検診は増加傾向ですが、肺がん検診・大腸がん検診・子宮がん検診は減少傾向です。

なお、胃がん検診は平成 30 年度から対象者（40 歳以上から 50 歳以上へ）・受診間隔（毎年から 2 年に 1 回へ）の変更、また、検査方法がエックス線検査と内視鏡検査（胃カメラ）の選択制となっています。

② 主観的健康観（成人）



光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、「あなたは、自分で健康だと感じていますか」という設問に「非常に健康だと思う」「健康な方だと思う」と回答の市民（20歳以上）の割合は、平成26年度（69.3％）から、令和2年度（68.9％）と減少しています。なかでも、年代別で50歳代が「非常に健康だと思う」「健康な方だと思う」と回答する割合は平成26年度（80.9％）から、令和2年度（63.1％）と大幅に減少しており、「あまり健康でないと思う」「健康でないと思う」と回答する割合が平成26年度（19.1％）から令和2年度（33.8％）と大きく増加している状況です。

③ 脳血管疾患の年齢調整死亡率（人口10万対）

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
男	38.0	37.0	37.5	32.6	48.9	35.2
女	29.0	24.5	20.8	20.6	13.5	21.5

光市の脳血管疾患の年齢調整死亡率（人口10万対）は、男女とも減少傾向です。

④ 虚血性心疾患の年齢調整死亡率（人口10万対）

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
男	18.5	15.0	17.5	20.1	18.8	19.4
女	8.2	8.3	11.2	8.9	7.8	8.5

光市の虚血性心疾患の年齢調整死亡率（人口10万対）は、男女ともやや増加傾向（横ばい）です。

3 高齢期の健康づくりの推進

個別指標	基準値 (平成 26 年)	中間目標 (令和 2 年)	直近値 (令和 2 年)	評価 (案)	参考値 (令和 7 年)	基準値 現状値 出典
① 「自分は健康だ (非常に健康だ・健康な方だ)」と思う人の割合 (65 歳以上)	63.2%	70.0%	64.5%	b	増加	①
② 日頃、楽しめる趣味や生きがいがある人の割合 (65 歳以上)	82.6%	85.0%	82.3%	d	増加	①
③ 地域の自治会や公民館活動への参加率「参加している (いつも＋時々)」	60.8%	80.0%	51.3%	d	増加	㊦

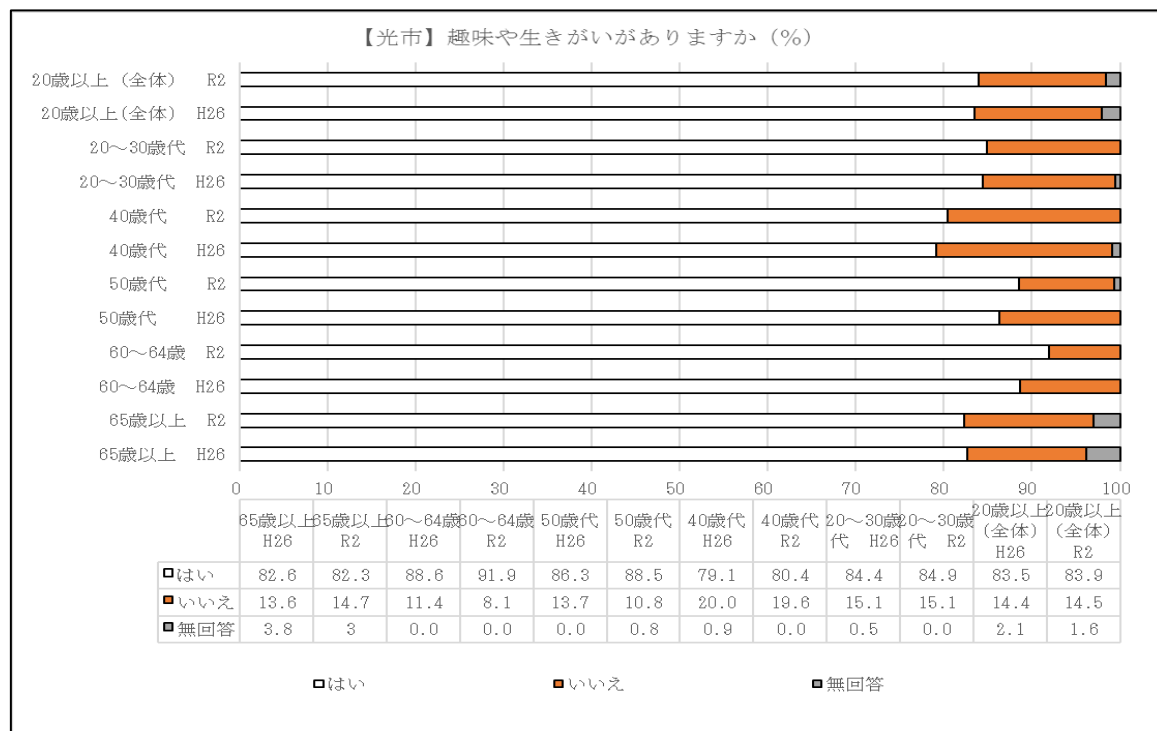
①光市「健康・食育に関するアンケート調査」(平成 26 年度、令和 2 年度)

㊦光市「まちづくり市民アンケート調査」(平成 26 年度、令和元年度)

① 主観的健康観 (65 歳以上) I-2-② (8 ページ) グラフ参照

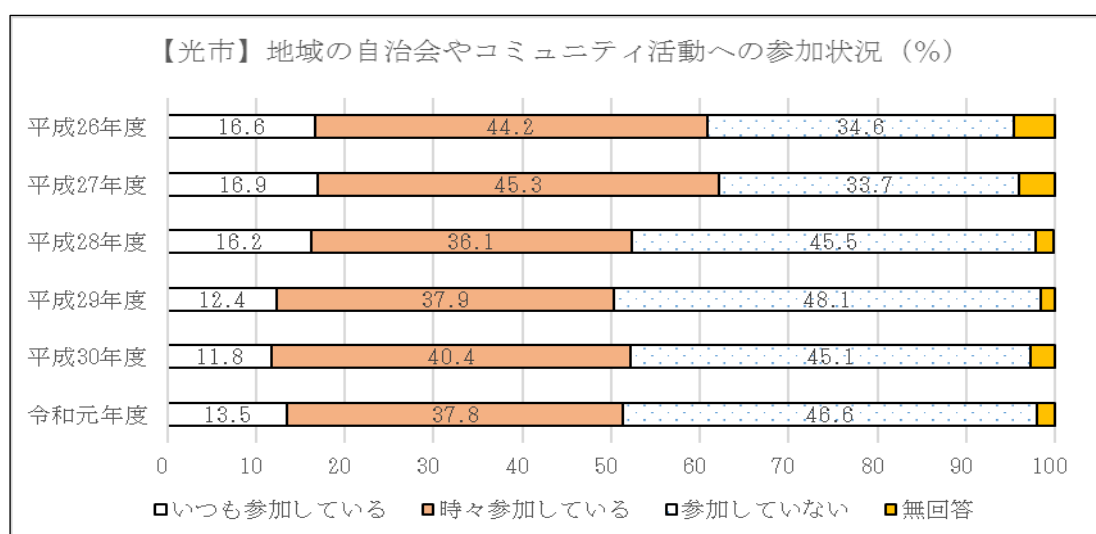
光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、「あなたは、自分で健康だと感じていますか」という設問に「非常に健康だと思う」「健康な方だと思う」と回答の市民 (65 歳以上) の割合は、平成 26 年度 (63.2%) から、令和 2 年度 (64.5%) とやや増加している状況です。

② 趣味や生きがいの有無 (65 歳以上)



光市「健康・食育に関するアンケート調査 (成人)」の結果、「日頃、楽しめる趣味や生きがいはありますか」という設問に「はい」と回答の市民 (65 歳以上) の割合は、平成 26 年度 (82.6%) から、令和 2 年度 (82.3%) とやや減少している状況です。

③ 地域の自治会やコミュニティ活動への参加



光市「まちづくり市民アンケート調査」の結果、地域の自治会やコミュニティ活動へ参加している（いつも参加している＋時々参加している）市民（18歳以上）の割合は、平成26年度（60.8％）から令和元年度（51.3％）と、減少している状況です。

Ⅱ 健康に暮らすために必要な機能の維持と向上

1 身体活動と運動の促進

個別指標	基準値 (平成26年)	中間目標 (令和2年)	直近値 (令和2年)	評価 (案)	参考値 (令和7年)	基準値 現状値 出典
① 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施している人の割合	36.4%	40.0%	41.0%	a	45.0%	㊦
② 健康づくりのために意識的に運動をしている人の割合（いつもしている、時々している）	65.8%	70.0%	72.1%	a	75.0%	㊦
③ 運動を習慣的にしている子どもの割合（学校の体育の授業以外に、ほとんど毎日（週に3日以上）運動・スポーツをしている児童の割合） 【再掲（Ⅰ－1）】 （小学5年生男子） （小学5年生女子）	 (H25) 60.0% 34.7%	増加	—	e ※	増加	㊦

㊦ 山口県「やまぐち健康マップ」「健康づくりに関する県民意識調査」（平成26年10月）

山口県「健康づくりに関する県民意識調査」（平成30年3月）

㊦ 文部科学省「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」（平成25年度）

※スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では近年（平成29・30・令和元年度）同設問の実施がない状況

① 定期的な運動習慣

山口県「健康づくりに関する県民意識調査」の結果、1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施している市民（20～70歳代）の割合は、平成26年度（36.4%）から平成29年度（41.0%）と、増加している状況です。

② 意識的な運動の実践

山口県「健康づくりに関する県民意識調査」の結果、「日常生活において、健康維持・増進のために、意識的に体を動かすように心がけている（いつも＋ときどき）」市民（20～70歳代）の割合は、平成26年度（65.8%）から平成29年度（72.1%）と、増加している状況です。

③ 運動習慣（児童生徒）【再掲（I - 1）】

I - 1 - ⑥（5ページ）参照

2 こころの健康づくりの推進

個別指標	基準値 (平成26年)	中間目標 (令和2年)	直近値 (令和2年)	評価 (案)	参考値 (令和7年)	基準値 現状値 出典
① 自殺死亡率（人口10万人あたり）	16.82	減少	13.5	a	減少	㉞
② 睡眠で休養が十分にとれていると思う人の割合 【再掲（I - 1）】 （中学生・高校生） （20～50歳代）	51.4% 51.4%	55.0%	61.7% 48.7%	a d	60.0%	①
③ ストレスを毎日感じている人の割合 （中学生・高校生） （20～50歳代）	18.5% 22.9%	減少	17.4% 27.6%	a d	減少	①
④ 自分なりのストレス解消法をもっている人の割合	74.5%	80.0%	69.9%	d	90.0%	㉞
④ 自分のことが好き（好き・どちらかといえば好き）という生徒の割合 （中学生） （高校生）	40.7% 30.1%	増加	45.9% 36.8%	a a	増加	①

㉞山口県「やまぐち健康マップ」「健康づくりに関する県民意識調査」（平成26年度）

山口県「健康づくりに関する県民意識調査」（平成30年3月）

①光市「健康・食育に関するアンケート調査」（平成26年度、令和2年度）

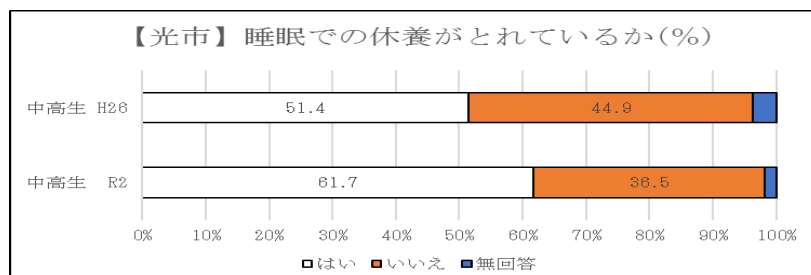
㉞内閣府「地域における自殺の基礎資料」（平成26年、平成30年）

① 自殺死亡率（人口 10 万人あたり）

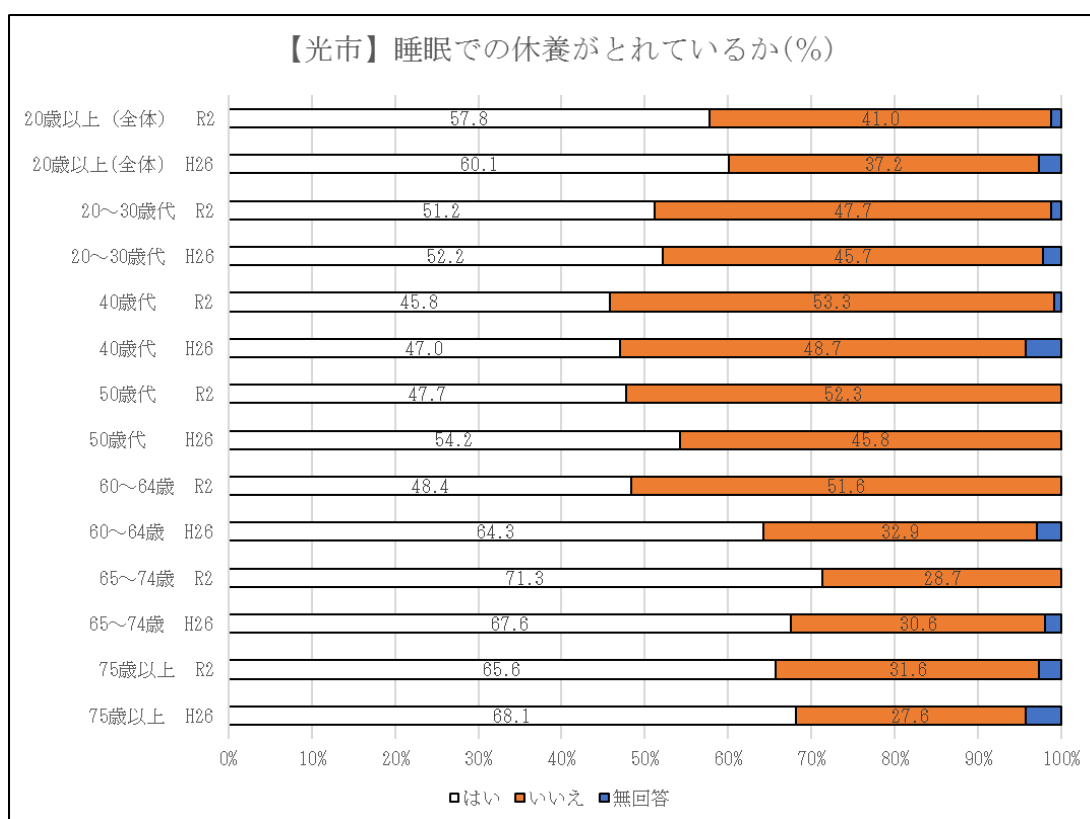
平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
16.82	13.2	15.2	13.4	13.5

光市の自殺死亡率（人口 10 万人あたり）は、平成 26 年以降、減少傾向の状況です。

② 睡眠での休養（生徒：Ⅰ－Ⅰ－⑦（3 ページ）参照）（成人）

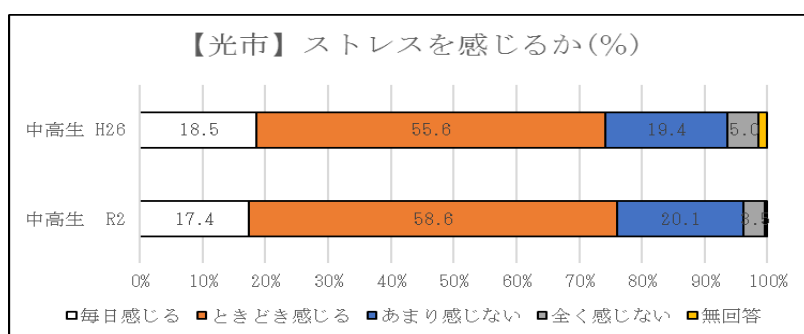


【再掲】光市「健康・食育に関するアンケート調査（児童生徒）」の結果、最近、睡眠で休養が十分とれている生徒（中高校生）の割合は、平成 26 年度 51.4%（中学生 52.2%、高校生 50.7%）から、令和 2 年度 61.7%（中学生 61.6%、高校生 61.8%）と増加している状況です。

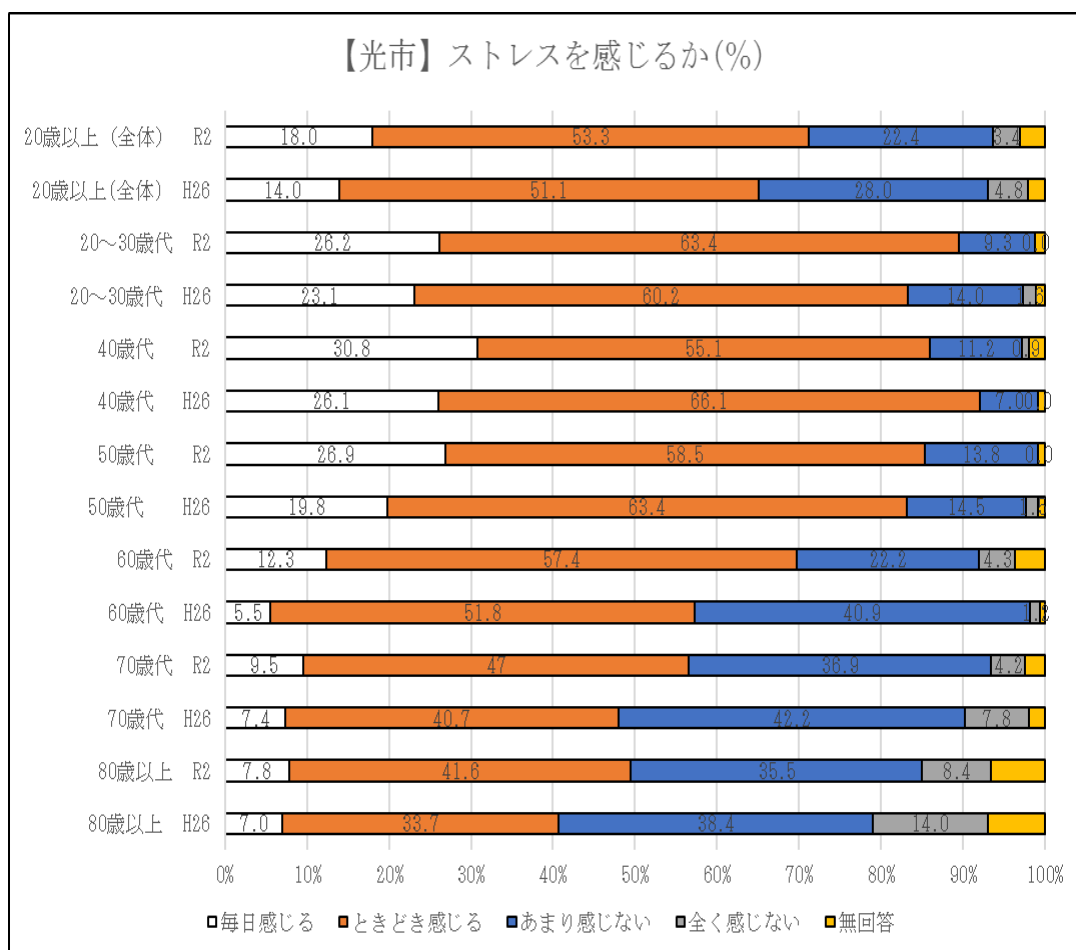


光市「健康・食育に関するアンケート調査（成人）」の結果、いつもの睡眠で休養が十分とれている市民（20 歳以上）の割合は、平成 26 年度（60.1%）から、令和 2 年度（57.8%）と減少している状況です。年代別で、20～50 歳代の割合は、平成 26 年度（51.4%）から、令和 2 年度（48.7%）と減少しており、増加しているのは 65～74 歳の年代のみです。

③ ストレスを毎日感じている人（生徒、成人）



光市「健康・食育に関するアンケート調査（児童生徒）」の結果、ストレスを毎日感じている生徒（中高生）の割合は、平成 26 年度 18.5%（中学生 19.0%、高校生 18.0%）から、令和 2 年度 17.4%（中学生 17.7%、高校生 17.0%）と減少している状況です。

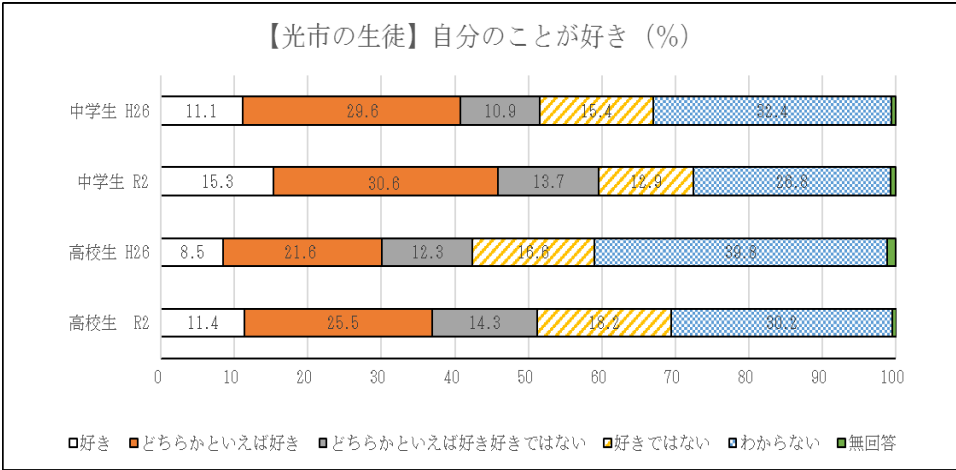


光市「健康・食育に関するアンケート調査（成人）」の結果、ストレスを毎日感じている市民（20 歳以上）の割合は、平成 26 年度（14.0%）から、令和 2 年度（18.0%）は増加しています。年代別で、20～50 歳代の割合は、平成 26 年度（22.9%）から、令和 2 年度（27.6%）と増加しており、どの年代でも成人では増加している状況です。

④ ストレス解消法の有無

山口県「健康づくりに関する県民意識調査」の結果、「自分なりのストレス解消法を持っている」市民（20～70 歳代）の割合は、平成 26 年度（74.5%）から平成 29 年度（69.9%）と、減少している状況です。

⑤ 自己肯定感（生徒）



光市「健康・食育に関するアンケート調査（児童生徒）」の結果、自分のことが好き（好き・どちらかといえば好き）という生徒の割合は、中学生・高校生ともに平成 26 年度（中学生 40.7%、高校生 30.1%）から、令和 2 年度（中学生 45.9%、高校生 36.8%）と増加しています。

しかし、「わからない」と回答している生徒の割合が減少（平成 26 年度中学生 32.4%、高校生 39.8%から、令和 2 年度中学生 26.8%、高校生 30.2%）しており、自分のことが好きではない（どちらかといえば好きではない・好きではない）生徒の割合が中学生・高校生ともに、平成 26 年度（中学生 26.3%、高校生 28.9%）から、令和 2 年度（中学生 26.6%、高校生 32.5%）と増加している状況です。

3 歯と口腔の健康づくりの推進

個別指標	基準値 (平成 26 年)	中間目標 (令和 2 年)	直近値 (令和 2 年)	評価 (案)	参考値 (令和 7 年)	基準値 現状値 出典
① 3 歳児健康診査でう歯のない子どもの割合	86.0%	90.0%	80.8%	d	増加	㊦
② よくかんで味わって食べる児童生徒の割合 (小学生・中学生・高校生)	61.0%	70.0%	76.3%	a	増加	①
③ 毎食後歯をみがく人の割合 (小学生) (中学生) (高校生) (成人)	61.9% 69.1% 22.2% 27.5%	10% 以上の 増加	58.0% 65.0% 35.7% 30.9%	d d a b	増加	①

④ 歯科のかかりつけ医がある人の割合	23.9%	40.0%	27.1%	b	60.0%	㊦
⑤ 過去1年間に歯科健康診査を受けた人の割合	42.4%	55.0%	53.6%	b	65.0%	㊧

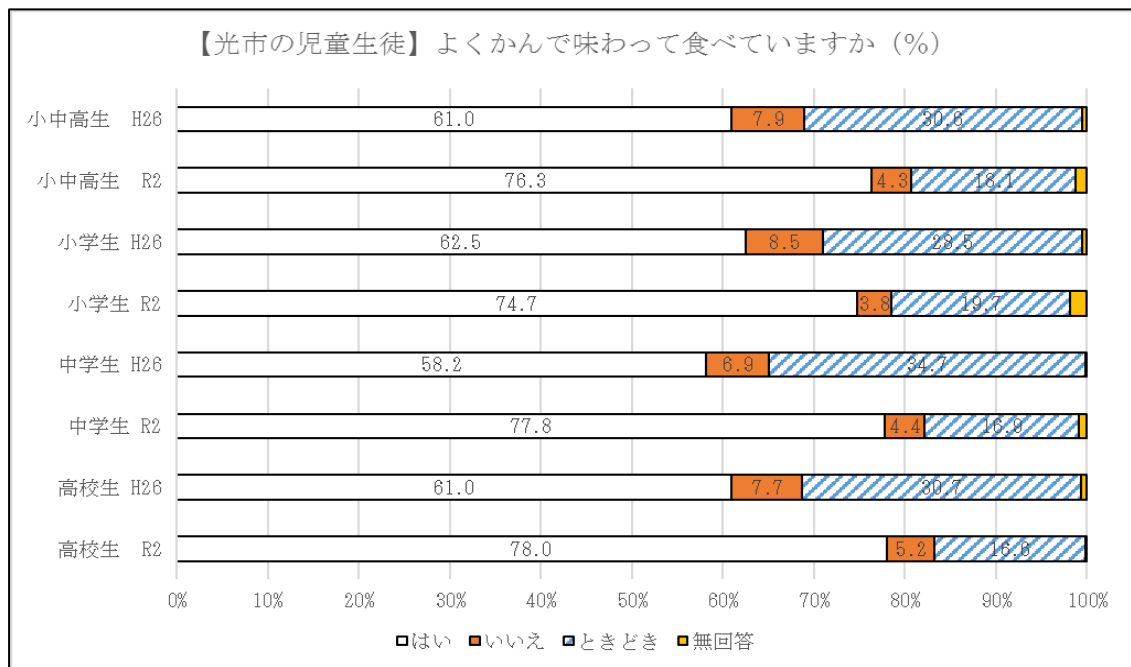
- ㊦山口県「やまぐち健康マップ」「健康づくりに関する県民意識調査」（平成26年10月）
山口県「健康づくりに関する県民意識調査」（平成30年3月）
㊦光市「健康・食育に関するアンケート調査」（平成26年度、令和2年度）
㊧光市健康増進課

① う歯のない子ども

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
86.0%	84.1%	80.4%	77.9%	78.5%	80.8%

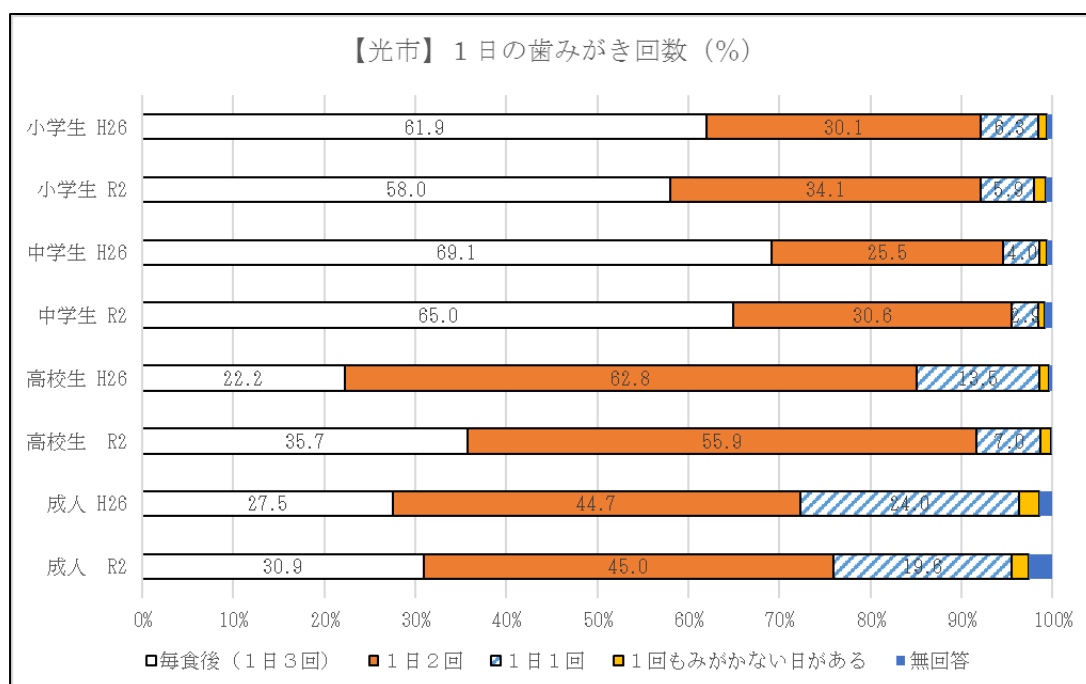
光市の3歳児健康診査においてう歯のない子どもの割合は、平成29年度まで減少傾向でしたが、近年やや増加傾向です。

② よくかんで味わって食べる児童生徒



光市「健康・食育に関するアンケート調査（児童生徒）」の結果、「よくかんで味わって食べていますか」という設問に「はい」と回答の児童生徒の割合は、平成26年度61.0%（小学生62.5%、中学生58.2%、高校生61.0%）から、令和2年度76.3%（小学生74.7%、中学生77.8%、高校生78.0%）と増加している状況です。

③ 歯みがきの頻度（児童生徒、成人）



光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、毎食後歯をみがく市民（児童生徒及び成人）の割合は、小学生・中学生はともに平成26年度（小学生61.9%、中学生69.1%）から、令和2年度（小学生58.0%、中学生65.0%）と減少しており、高校生・成人はともに平成26年度（高校生22.2%、成人27.5%）から、令和2年度（高校生35.7%、成人30.9%）と増加している状況です。

④ 歯科のかかりつけ医の有無

光市「健康・食育に関するアンケート調査（成人）」の結果、「現在、かかりつけ医療機関がありますか」の設問に「はい」と回答した人のうち、かかりつけ医が「歯科医師」の割合は、平成26年度（23.9%）から令和2年度（27.1%）と、増加している状況です。

⑤ 過去1年間の歯科健康診査受診状況

山口県「健康づくりに関する県民意識調査」の結果、過去1年間に歯科健康診査を受けた市民（20～70歳代）の割合は、平成26年度（42.4%）から平成29年度（53.6%）と、増加している状況です。

Ⅲ 望ましい食習慣の実践と食育の推進

1 望ましい栄養摂取と食生活の実践

個別指標	基準値 (平成 26 年)	中間目標 (令和 2 年)	直近値 (令和 2 年)	評価 (案)	参考値 (令和 7 年)	基準値 現状値 出典
① 朝食を毎日とっている児童生徒の割合 【再掲 (I - 1)】 (小学生) 84.7% (中学生) 85.2% (高校生) 70.9%		増加	79.5% 80.5% 71.8%	d d a	100%に 近づける	㊦
② ほぼ毎日 (週 6 日以上) 朝食を摂取している人の割合	79.9%	85% 以上	81.9%	b	90% 以上	㊦
③ 1 日 3 回野菜を食べる人の割合 (小学生) 39.2% (中学生) 39.5% (高校生) 23.6% (成人) 26.8%		10% 以上の 増加	31.3% 39.9% 25.5% 21.4%	d b b d	増加	㊦
④ 主食、主菜、副菜のそろった食事を 1 日 2 回以上とる人の割合	48.9%	60% 以上	53.8%	b	70% 以上	㊦
⑤ 家で料理をする機会がある人の割合 (毎日ある・週に数回ある) *児童生徒は大人と一緒にすることも含む (小学生・中学生・高校生・成人男性) 23.8% 17.5%		10% 以上の 増加	22.4% 24.7%	d b	増加	㊦
⑥ 「食育」に関心がある人の割合	80.6%	90% 以上	74.9%	d	90% 以上	㊦

㊦ 山口県「やまぐち健康マップ」「健康づくりに関する県民意識調査」(平成 26 年 10 月)

山口県「健康づくりに関する県民意識調査」(平成 30 年 3 月)

㊦ 光市「健康・食育に関するアンケート調査」(平成 26 年度、令和 2 年度)

㊦ 光市「まちづくり市民アンケート調査」(平成 26 年度、令和元年度)

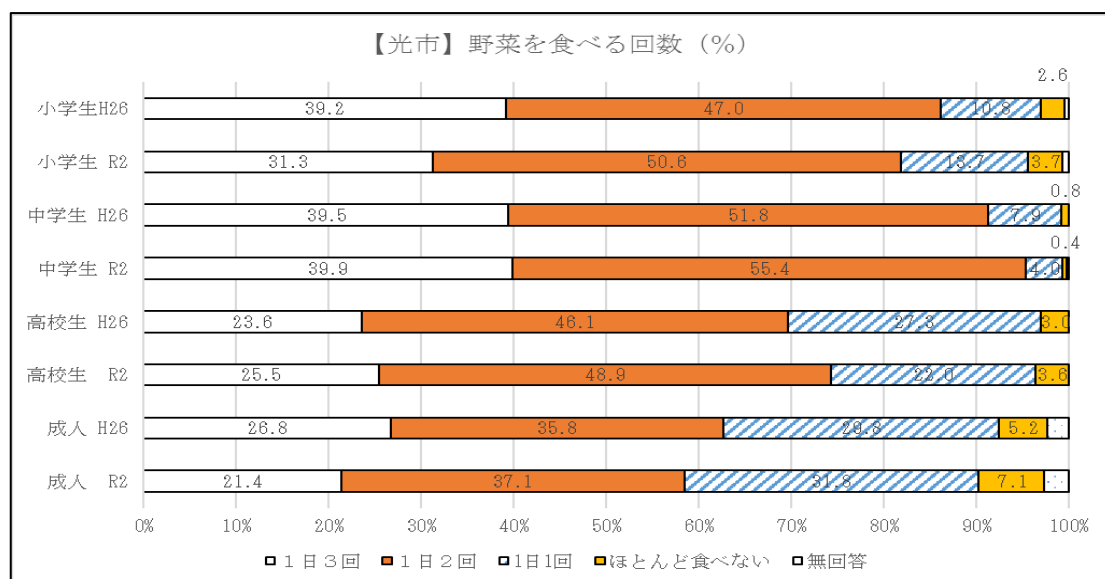
① 朝食の摂取状況 (児童生徒) 【再掲 (I - 1)】

I - 1 - ⑤ (5 ページ) 参照

② 朝食の摂取状況 (成人)

山口県「健康づくりに関する県民意識調査」の結果、朝食をほぼ毎日 (週 6 日以上) 摂取している市民 (20~70 歳代) の割合は、平成 26 年度 (79.9%) から平成 29 年度 (81.9%) と、やや増加している状況です。

③ 野菜の摂取状況（児童生徒、成人）

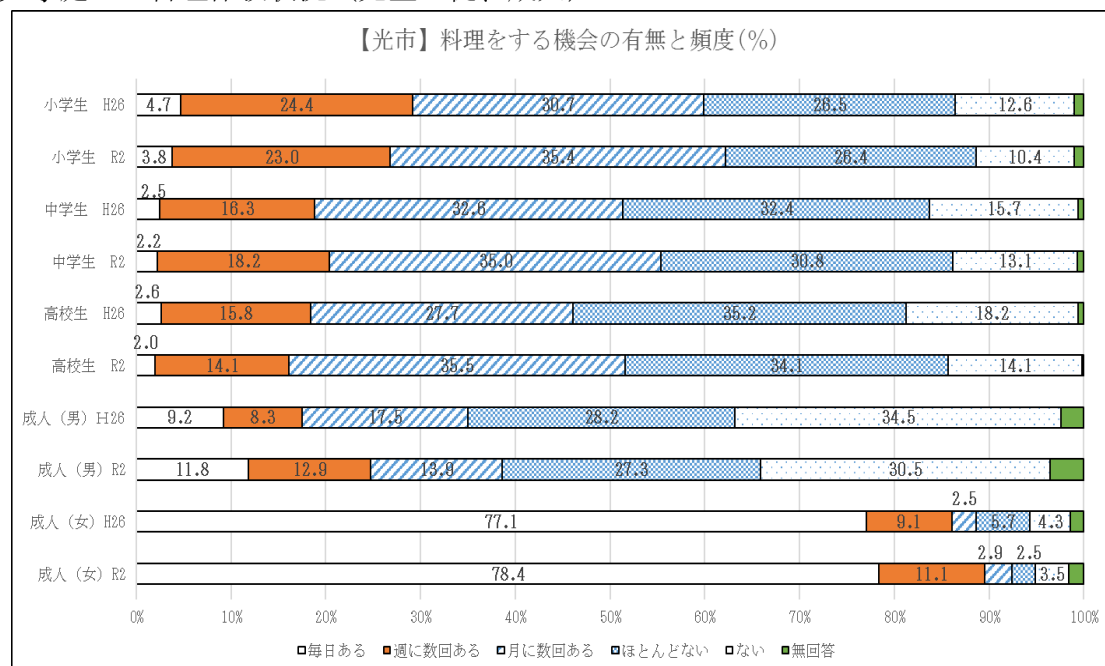


光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、1日3回野菜を食べる市民（児童生徒及び成人）の割合は、小学生・成人はともに平成26年度（小学生39.2%、成人26.8%）から、令和2年度（小学生31.3%、成人21.4%）と減少しており、中学生・高校生はともに平成26年度（中学生39.5%、高校生23.6%）から、令和2年度（中学生39.9%、高校生25.5%）と増加している状況です。

④ 主食、主菜、副菜のそろった食事の摂取状況（成人）

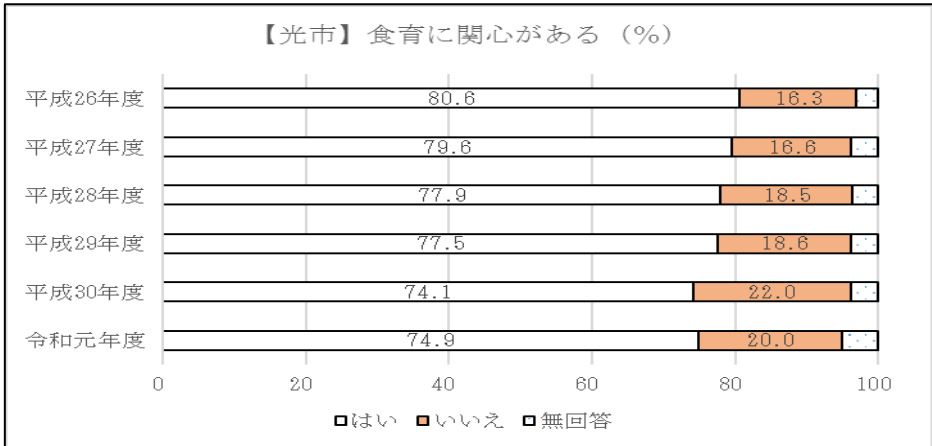
山口県「健康づくりに関する県民意識調査」の結果、主食、主菜、副菜のそろった食事を1日2回以上とることが週に6日以上の市民（20～70歳代）の割合は、平成26年度（48.9%）から平成29年度（53.8%）と増加している状況です。

⑤ 家庭での料理体験状況（児童生徒、成人）



光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、家で料理をする機会がある（毎日ある・週に数回ある）（児童生徒は大人と一緒にすることも含む）児童生徒の割合は、平成26年度23.8%（小学生29.1%、中学生18.8%、高校生18.4%）から、令和2年度22.4%（小学生26.8%、中学生20.4%、高校生16.1%）と減少しており、20歳以上成人男性の割合は、平成26年度17.5%から、令和2年度24.7%と増加している状況です。

⑥ 「食育」への関心



光市「まちづくり市民アンケート調査」の結果、「食育」に関心がある市民（18歳以上）の割合は、平成26年度（80.6%）から令和元年度（74.9%）と減少している状況です。

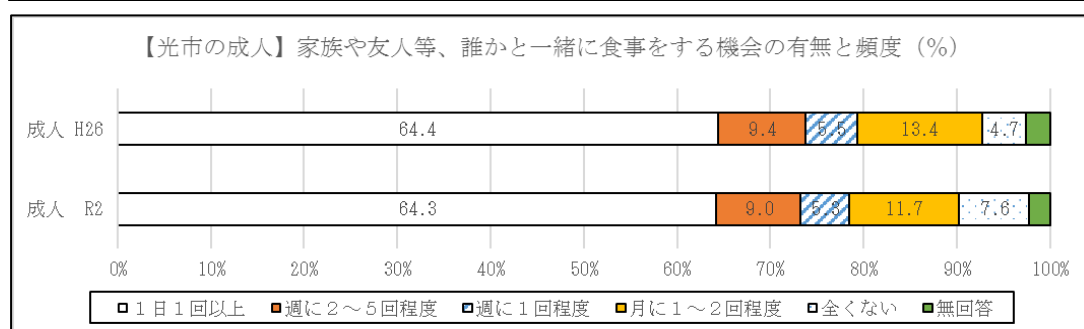
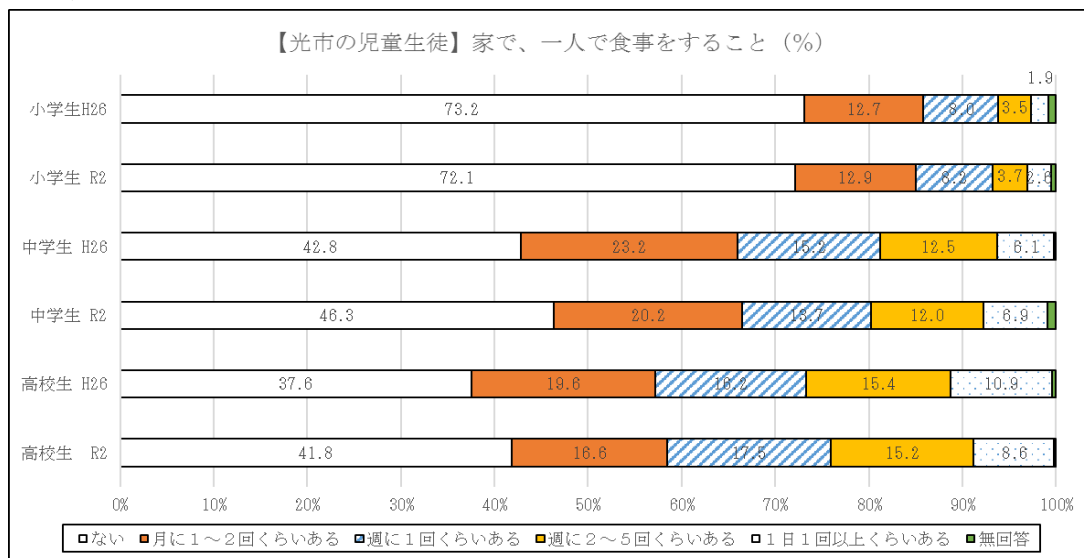
2 食文化の継承と食に関する感謝の念と理解、共食の推進

個別指標	基準値 (平成26年)	中間目標 (令和2年)	直近値 (令和2年)	評価 (案)	参考値 (令和7年)	基準値 現状値 出典
① 誰かと食事をする人の割合（家で一人で食事をする ことがない児童生徒）（家族 や友人など、誰かと一緒に 食事をする機会が1日1回 以上ある成人）						①
（小学生）	73.2%	75%以上	72.1%	d	80%以上	
（中学生）	42.8%	50%以上	46.3%	b	60%以上	
（高校生）	37.6%	50%以上	41.8%	b	60%以上	
（成人）	64.4%	70%以上	64.3%	c	80%以上	
② 「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをい つもする人の割合		10%				①
（小学生）	78.4%	以上の 増加	76.0%	d	増加	
（中学生）	68.1%		78.7%	a		
（高校生）	56.2%		70.0%	a		
（成人）	50.5%		49.0%	d		

③ 食事のマナーや作法について気をつけている人の割合 (中学生) (高校生) (成人)	38.2% 20.8% 19.7%	10%以上の増加	56.5% 43.9% 19.4%	a a d	増加	㊦
④ 地元の食材を購入している人の割合	81.3%	90%以上	78.6%	d	95.0%	㊦
⑤ 食べ残しやごみを減らすことに気をつけている人の割合 (中学生・高校生) (成人)	33.8% 35.0%	10%以上の増加	58.6% 37.7%	a b	増加	㊦
⑥ 行事食を取り入れることを意識している人の割合	18.0%	10%以上の増加	16.2%	d	増加	㊦

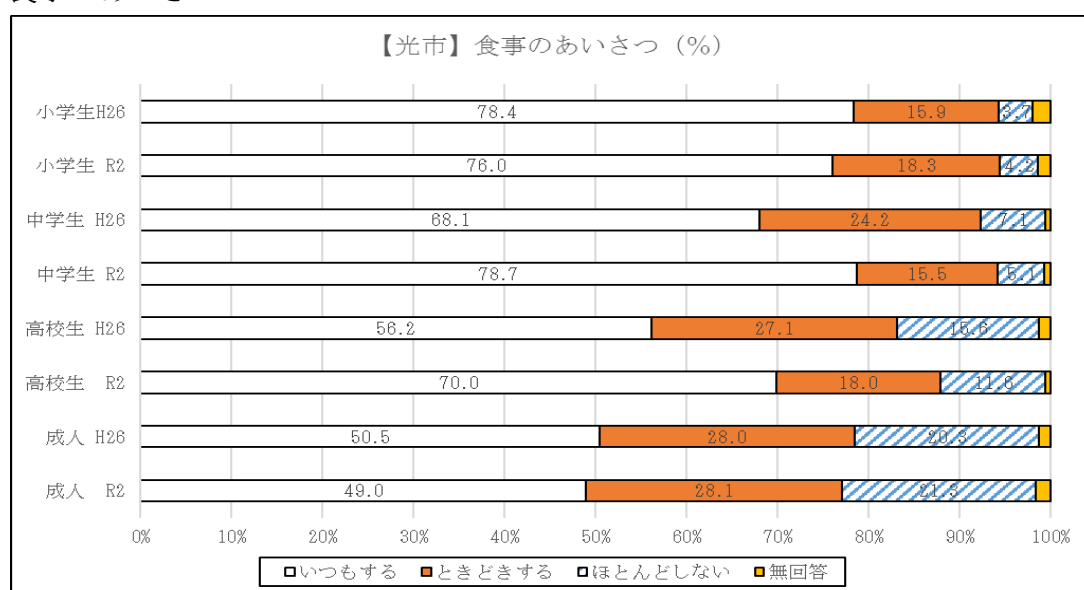
- ㊦山口県「やまぐち健康マップ」「健康づくりに関する県民意識調査」(平成26年10月)
山口県「健康づくりに関する県民意識調査」(平成30年3月)
㊦光市「健康・食育に関するアンケート調査」(平成26年度、令和2年度)
㊦光市「まちづくり市民アンケート調査」(平成26年度、令和元年度)

① 孤食の状況



光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、「家で、一人で食事をする
 ことがありますか」という設問に「ない」と回答の児童生徒の割合は、小学生は平成
 26 年度 73.2%から、令和 2 年度 72.1%と減少しており、中学生・高校生はともに平
 成 26 年度（中学生 42.8%、高校生 37.6%）から、令和 2 年度（中学生 46.3%、高
 校生 41.8%）と増加している状況です。また、「家族や友人等、誰かと一緒に食事をする
 機会がありますか」という設問に「1 日 1 回以上」と回答の成人の割合は、
 平成 26 年度 64.4%から、令和 2 年度 64.3%とほぼ変わらず、「全くない」と回答の
 成人の割合が平成 26 年度 4.7%から、令和 2 年度 7.6%と増加している状況です。

② 食事のあいさつ

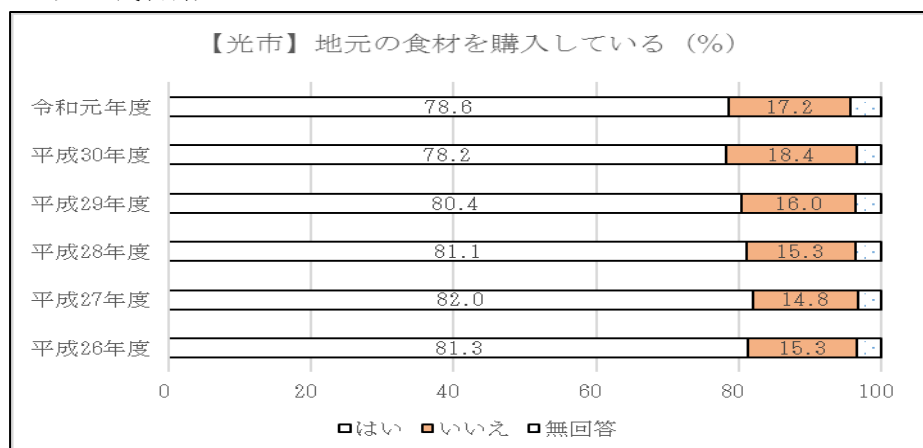


光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、「いただきます」「ごちそうさ
 ま」のあいさつをしていますか」という設問に「いつもしている」と回答の児童生徒
 の割合は、小学生と成人は平成 26 年度（小学生 78.4%、成人 50.5%）から、令和 2
 年度（小学生 76.0%、成人 49.0%）と減少しており、中学生・高校生はともに平成 26
 年度（中学生 68.1%、高校生 56.2%）から、令和 2 年度（中学生 78.7%、高校生 70.0%）
 と増加している状況です。

③ 食事のマナーや作法

光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、「食生活で気をつけていること
 がありますか」という設問に「食事のマナーや作法（食事のあいさつ、はしの持ち方
 等）」について気をつけていると回答の生徒及び成人の割合は、中学生・高校生はとも
 に平成 26 年度（中学生 38.2%、高校生 20.8%）から、令和 2 年度（中学生 56.5%、
 高校生 43.9%）と増加しており、成人は平成 26 年度 19.7%から、令和 2 年度 19.4%
 と減少している状況です。

④ 地元の食材購入



光市「まちづくり市民アンケート調査」の結果、地元の食材を購入している市民（18歳以上）の割合は、平成26年度（81.3%）から令和元年度（78.6%）と減少している状況です。

⑤ 食物残渣や環境への配慮

光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、「食生活で気をつけていることがありますか」という設問に「食べ残しやごみを減らす」ことに気をつけていると回答の生徒及び成人の割合は、中学生・高校生及び成人ともに平成26年度（中学生・高校生33.8%、成人35.0%）から、令和2年度（中学生・高校生58.6%、成人37.7%）と増加している状況です。

⑥ 食文化の継承

光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、「食生活で気をつけていることがありますか」という設問に「伝統的な行事食を取り入れる（おせち料理、七草粥、おはぎ、ちまき 等）」ことについて気をつけている（心掛けている）と回答の成人の割合は、平成26年度18.0%から、令和2年度16.2%と減少している状況です。